

潜水作業用通話装置

Divers Safety Amplifier

(ASA-069B 改)

取扱い説明書

(Ver.1.0)

朝日海洋株式会社

朝日工営株式会社

はじめに

- ・この度は弊社の潜水作業用通話装置をお買い上げいただき、ありがとうございます。
今後とも弊社の潜水作業用通話装置を末長くご愛用頂きますよう、お願い申し上げます。
- ・本取扱説明書をよくお読みの上、内容を理解してからお使いください。
- ・本取扱説明書は、本製品の取り扱い上の注意、操作方法、オプション機能、性能について説明しています。

安全にご使用いただくために

- ・周囲に爆発性のガスがある場所で使用しないでください。
- ・煙がでる、異臭または異音がする場合は、直ちに電源を切り、
AC/DCアダプタを使用の場合は直ちにコンセントから電源プラグ
を抜いてください。バッテリーを使用している場合は直ちにバッ
テリー端子からクリップを外してください。
- ・濡れた手で電源コードのプラグにさわらないでください。
- ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に本製品を置かな
いでください。
- ・海水や雨水がかかる場所には本製品を置かないでください。
- ・規定の電源電圧で使用してください。

バッテリーを使用する場合：DC10～14V

AC/DC アダプタを使用する場合：AC100～240V

梱包内容の確認

製品がお手元に届きましたら、下記構成表で内容物の確認をしてください。
欠品または運送上の損傷などがありましたら、直ちに弊社までご連絡ください。

構成表

基本構成	オプション
本体	外部スピーカー
オペレータ用ハンドマイク	マイクケーブルプラグ用キャップ
バッテリー用電源コード	プラグ用キャップ
取扱説明書	AC/DC アダプタ

特殊仕様の構成については（4.2 追加機能）を参照してください。



通話装置本体



ハンドマイク



外部スピーカー



バッテリー用電源コード

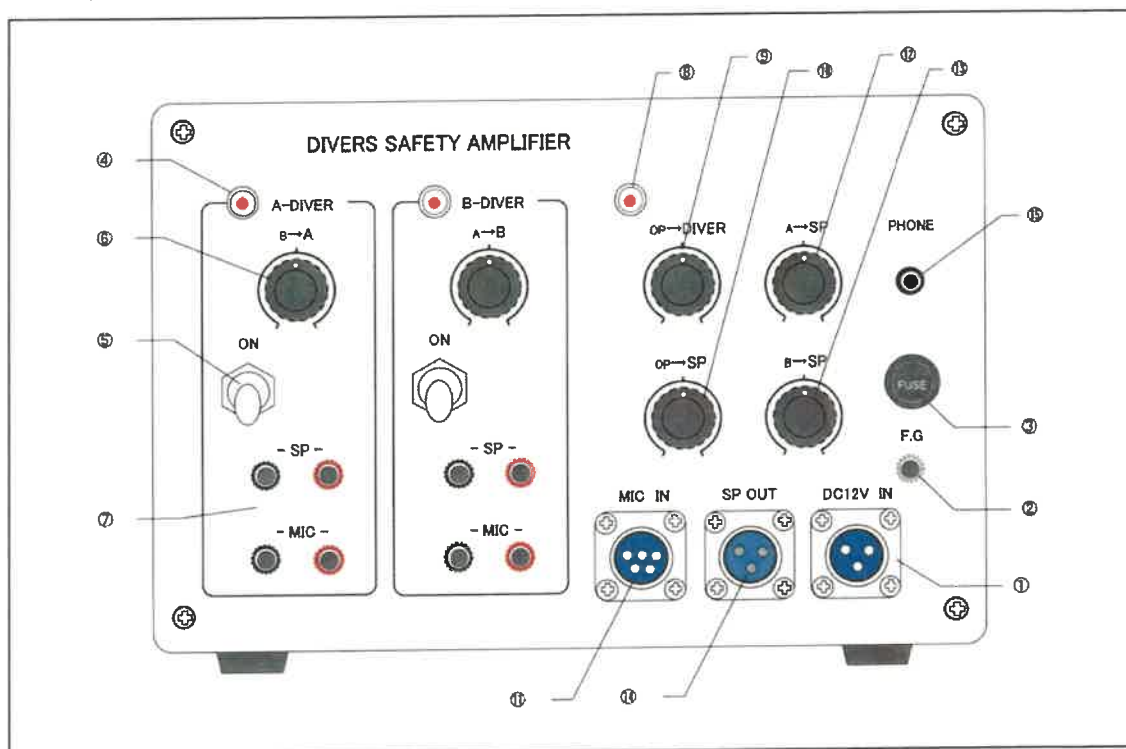


AC/DC アダプタ



プラグ用キャップ

1. 正面パネルの説明



番号	名 称	機 能 の 概 要
①	電源入力用レセプタクル	電源プラグを挿入する
②	接地端子	接地（アース）線を接続する
③	ヒューズホルダ	ガラスヒューズ（2A）
④	電源表示ランプ	電源オン時に点灯。電圧低下の時暗くなる
⑤	電源投入スイッチ	DIVER(A,B)ごとに電源を入れる
⑥	DIVER 音量調整 VR	DIVER（A⇔B）同士の通話音量を調整する
⑦	通話ケーブル接続端子	DIVER(A,B)の MIC・SP を接続する
⑧	OP 通話表示ランプ	OP の通話中に点灯する
⑨	OP→DIVER 音量調整 VR	OP から DIVER(A,B)への音量を調整する
⑩	OP→外部 SP 音量調整 VR	外部 SP の OP の音量を調整する
⑪	OP 用マイク用レセプタクル	OP 用プレストークマイクを接続する
⑫	DIVER(A)→外部 SP 音量調整 VR	外部 SP の DIVER(A)の音量を調整する
⑬	DIVER(B)→外部 SP 音量調整 VR	外部 SP の DIVER(B)の音量を調整する
⑭	外部 SP 用レセプタクル	外部 SP プラグを挿入する
⑮	ヘッドホン用ジャック	ヘッドホン用ピンを挿入する

OP：船上連絡員 DIVER(A,B)：潜水士（A,B） 外部 SP：船上側スピーカー

MIC：潜水士側水中マイク SP：潜水士側水中スピーカー

2. 準備

2.1 通話ケーブルの接続

ケーブルにはツイストペア線を使用してください。

対になった芯線をそれぞれ潜水士の水中マイクと水中スピーカーに接続してください。

水中マイクのペア線は「-MIC-」に、水中スピーカーのペア線は「-SP-」にそれぞれ確実に接続してください。

ツイストペアケーブルの標準規格：「4芯ツイストペア AWG21以上」

海水が浸透するなどして素線がさびた状態のケーブルは使用しないでください。

正常な通話ができなかったり、ノイズの原因になります。

締め付けが足りないと、明瞭な通話ができなかったり、ノイズが発生したりします。

極端に短いケーブル（10m以下）は接続しないでください。（故障する場合があります）

2.2 連絡員（OP）用ハンドマイクの接続

「MIC IN」のレセプタクルキャップを外して付属のハンドマイクを接続し、しっかり絞めつけてください。

締め付けが足りないと、明瞭な通話ができなかったり、ノイズが発生したりします。

付属のハンドマイク以外のマイクを使用する場合は（5.仕様）を参照してください。

2.3 外部スピーカーの接続

「SP OUT」のレセプタクルキャップを外して別売りのトランペットスピーカーを接続し、しっかり絞めつけてください。

ハンドマイクとトランペットスピーカーとの距離が近いとハウリングを起こすことがあります。適当な距離を保ってください。

別売りのトランペットスピーカー以外のスピーカーを使用する場合は（5.仕様）を参照してください。

2.4 イヤホン（ヘッドホン）の接続

「PHONE」のキャップを外し、ダイナミック型イヤホン（もしくはヘッドホン）のピンを差し込んでください。ピンサイズは3.5mmφです。モノラル・ステレオどちらのタイプでも使用可能です。（お客様で手配願います。）

「PHONE」を使用すると、外部スピーカーの音声はカットされます。

2.5 電源の接続

電源はバッテリーとAC/DCアダプタのどちらかを選択できます。

バッテリーを使用する場合、出力電圧12V自動車用バッテリーを使用してください。

「DC12V IN」のキャップを外して付属の電源用ケーブルを接続し、しっかり絞めつけ

てください。

赤いクリップを+端子に、黒いクリップを-端子に接続してください。

別売りの AC/DC アダプタを使用する場合、「DC12V IN」のキャップを外してアダプタの出力側 (DC12V) を接続し、しっかり絞めつけてください。

AC100V のコンセントに入力側のプラグを差し込んでください。

3. 操作

3.1 電源の投入

DIVER(A)単独と連絡員(OP)が通話する場合は A-DIVER 側のスイッチ⑤を ON してください。A-DIVER 側の LED④が点灯します。

DIVER(B)単独と連絡員(OP)が通話する場合は B-DIVER 側のスイッチ⑤を ON してください。B-DIVER 側の LED④が点灯します。

両方のスイッチを ON すれば、DIVER(A) と DIVER(B)及び連絡員 (OP) の三者間で同時通話が可能になります。

3.2 通話操作

① 潜水士同士の通話

電源スイッチ④を両方とも ON にすると潜水士同士の同時通話ができます。

お互いの音量は VR⑥で調整します。

② 連絡員と潜水士の通話

連絡員はハンドマイクのプレストークスイッチを押しながら会話します。

連絡員から潜水士に対する音量は VR⑨で調整します。

(潜水士個別に調整はできません)

③ 外部スピーカーの音量の調整

外部スピーカーから聞こえる潜水士の音量は個々の VR⑫⑬で調整します。

外部スピーカーから聞こえる連絡員の音量は VR⑩で調整します。

④ イヤホン (ヘッドホン) の使用

「PHONE」にイヤホン (またはヘッドホン) を接続すると、自動的に外部スピーカーの音声が遮断されます。騒音対策等に活用できます。

4. オプション

4.1 本装置の基本構成は

「本体+ハンドマイク+バッテリー電源用ケーブル」です。

外部スピーカーはお客様がお持ちの場合も多いので、ご要望に応じて販売いたします。

装置の電源は DC12V を標準としていますが、AC/DC アダプタを別売りしております。

4.2 追加機能

ご要望に応じて下記の機能を追加することができます。ただし、追加する機能によって装置全体の構造を変更することが必要な場合もあります。

以下に追加可能なオプションとご注文時の留意点を示します。

オプションの内容

名 称	内 容	注文のタイミング
外部スピーカー	トランペットスピーカー 8Ω 5W ケーブル 20m	随時（本体の形状は変更なし）
AC/DC アダプタ	DC12V 2A	随時（本体の形状は変更なし）
イヤホン	ダイナミック型イヤホン	随時（本体の形状は変更なし）
電源電圧の変更	電源電圧を DC12~24V に 変更	随時（ただし、工場にて改造する ため、購入後に改造する場合は一 旦預かります）
外部スピーカーの 2系統化	潜水土ごとに外部スピーカ ーを取り付ける（2スピーカ ー接続）ためのアンプの追 加	購入時に指定 （寸法形状が基本型と異なり、受 注生産となります）
通話の相手を個別 選択する機能	OPの通話相手を DIVER(A) または DIVER(B)のいずれ かを選別するスイッチの追 加	購入時に指定 （寸法形状が基本型と異なり、受 注生産となります）
ケーブル側プラグ 防水キャップ	NJW-16-Pca	随時（本体の形状は変更なし）
壁面固定金物	壁面に取付けるための金物	随時（本体の形状は変更なし）

5. 仕様

5.1 形状

材質：防水アルミダイキャスト ライトグレー 粉体塗装

寸法：W240×D160×H100 mm 質量：2.7 kg

5.2 電源

標準 DC10~14V

オプション ・ AC/DC アダプタを使用することによって AC100V に対応

・ 電源電圧を DC12~24V に変更可能

バッテリーチェック機能：DC 電圧が 10V 以下になると使用中の DIVER LED が減光します。直ちに使用不能ということにはなりません。バッテリーの充電目安としてください。

5.3 出力

DIVER 側 SP 出力：1.5W 8Ω（ケーブル損失を考慮して 20Ω で設計）

外部 SP 出力：2.5W 8Ω

DIVER 側 MIC 入力：8Ω

OP 側 MIC 入力：600Ω

5.4 レセプタクル及びプラグピン配置

① 「DC12V IN」 レセプタクル 七星科学 NJW-163RM

適合プラグ 七星科学 NJW-163PF

ピン番号	信号
1	DC 電源 +側入力 DC10～14V 定格 12V
2	DC 電源 -側入力 0V
3	NC

② 「SP OUT」 レセプタクル 七星科学 NJW-163RF

適合プラグ 七星科学 NJW-163PM

ピン番号	信号
1	NC
2	スピーカー（4～8Ω）+
3	スピーカー（4～8Ω）-

③ 「MIC IN」 レセプタクル 七星科学 NJW-163RF

適合プラグ 七星科学 NJW-165PF

ピン番号	信号
1	NC
2	NC
3	トークスイッチ（+）
4	マイク（+）出力
5	コモン（マイク（-）出力、トークスイッチ（-））

6. 連絡先

〒660-0843

兵庫県尼崎市東海岸町 38 番地

朝日海洋株式会社

TEL06-6435-9277 Fax06-6435-9278

〒555-0033

大阪市西淀川区姫島 5 丁目 11-15

朝日工営株式会社

TEL06-6475-1237 Fax06-6475-1247 <http://www.asahikouei.com/>

2019/5/20 作成

2019/7/24 一部修正